

総合整備計画書

福島県 鮫川村 青生野 辺地
(辺地の人口 192人 面積 22.8 k m²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

丸谷地、羽双、大犬平、反谷地、大平、江堀、赤小名、青生野、西谷地、世々麦、姿平

(2) 地域の中心の位置 大字青生野字大犬平51番地

(3) 辺地度点数 276点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

当地域は村の南東部に位置し、標高650mから700mに集落が散在する山間高冷地であり、次の事情により公共的施設の整備を必要とする。

- (1) 地域内を国道349号が縦断、国道289号が横断し、常磐自動車道・いわき勿来インターチェンジから約25kmの距離にあるが、集落と国道を結ぶ生活道路が老朽化により損傷が激しい箇所があるため、生活路線としての機能回復を図る必要がある。また、国道改良により、観光客及び交流人口の増加が見込まれるため、安全確保のための道路整備が必要である。
- (2) 地域内には本村を代表する観光地「鹿角平観光牧場」があり、牧場を管理する管理棟は、老朽化が激しいため、施設整備を行い、地域内の観光施設の拠点となるような施設が必要である。また、施設周辺にある排水路は、老朽化や気候変動による雨量の増加により度重なる越水を引き起こしているため、大規模な改修を伴う排水路の整備が必要である。
- (3) 情報化社会における他の地域との格差を是正するため、テレビ共同受信組合に対し、施設の維持補修するための補助をする必要がある。
- (4) 地域内には上水道が未整備で生活用水を沢水や井戸水に依存し、水不足で苦慮している集落があり、住民の暮らしを改善するため自家水源確保施設を整備する必要がある。
- (5) 地域内には合併処理浄化槽未整備の家庭も見受けられるため、合併処理浄化槽設置する個人に対し、補助を実施し、生活雑排水等の汚水を処理する施設を整備する必要がある。
- (6) 小・中学校への通学のためスクールバスを運行しているが、児童・生徒の安全な通学手段を確保するため、通学バスを更新する必要がある。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度までの5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内容		一般財源のうち地 対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
【交通通信施設】 村道姿平鹿角平線（改良工事）	鮫川村	220,000	110,000	110,000	110,000
【交通通信施設】 村道世々麦西谷地線 （簡易舗装工事）	鮫川村	205,000	94,250	110,750	109,800
【産業振興施設】 鹿角平観光拠点施設整備	鮫川村	350,000	0	350,000	350,000
【共聴施設】 テレビ組合施設補修整備補助事業	鮫川村	20,000		20,000	20,000
【厚生施設等】 自家用水源確保施設整備補助事業	鮫川村	1,000	0	1,000	1,000
【厚生施設等】 合併処理浄化槽整備補助事業	鮫川村	1,000	0	1,000	1,000
【教育文化施設等】 スクールバス購入費（青生野線）	鮫川村	15,770	3,770	12,000	12,000
合 計		812,770	208,020	604,750	603,800